

所要時間：約2時間(拝観や見学時間含まず) 距離：約5キロ

みんなで楽しくウォーキング

世界一美しいまち、京都を歩く

紫蘇の香りの大原を歩こう

京都市の北東、比叡山麓に位置する大原は、紫蘇の里です。初夏に苗を植え替え、7月から8月にかけて立派に成長した赤紫の大葉を収穫し、旬の夏野菜と漬けたのが、800年余の伝統の味「しば漬け」。今回は、今もなおどかな田園風景が残る大原の里を、三千年院や寂光院をはじめとする歴史文化遺産を訪ねながら歩きます。大原の田園風景

歌でも有名な三千年院跡で休憩しました。

きょうりの葉っぱをきょうりに刺したアイス(きょうりアイス)を新しく作りました。

三千年院「あじさい祭」(7月10日)
●電話/075-744-2531
●入館料/一般600円・中学生300円・小人150円

京都市の北東、比叡山麓に位置する大原は、紫蘇の里です。

三千年院「あじさい祭」(7月10日) ●電話/075-744-2531 ●入館料/一般600円・中学生300円・小人150円

平家物語の舞台となった寂光院

再び四辻へと戻り、今度は南へと進みましょう。茅葺きの民家が点在する道を歩き、国道を越えて京都バス「大原」停留所横の道を西へ。高野川にかかる橋を渡り、「右寂光院・左京道」の石橋が立つ道を左にいくと、大原の昔ばなしに出てくるごんまりとした乙が森。このあたりからは大原の田園風景が一望できます。寂光院へと向かう途中、草生川の木橋の手前が、建礼門院の和歌に詠まれた落合の滝。平清盛の娘で安德天皇の母でもある建礼門院徳子は、壇ノ浦の合戦で生き残った後、わが子と平家一門の真福を祈って寂光院で余生を送りました。聖徳太子の創建と伝えられる寂光院の飛鳥・藤原・桃山三時代の様式からなる本堂は、平成12年に全焼しましたが、平成17年6月に復興。平家物語の首をしのぼせる優美な姿を見せています。

まだまだ田園風景が残る大原。歴史文化遺産で有名な三千年院の新緑が私たちを歓迎してくれました。

宝泉院、勝林院、実光院、来迎院と進むコースの途中で、鳥のさえずり、川のせせらぎなどの自然を味わい、寂光院ではロマンをかきたてられるなど、毎日の生活で味わうことのない心地よさを、体いっぱい感じました。本当に気持ちのいいウォーキングができました。

子育てサポーター 石原祐子(上鳥羽小)・山本眞智子(山王小)ほか

衆議院特別委員会で門川教育長が意見陳述

5月30日、国会の要請により、衆議院の教育基本法特別委、門川大作教育長が参考人として意見陳述し、5政党からの質問に答弁しました。門川教育長は、京都では先人が明治維新の危機の中、自ら日本で最初の学校を創設した「電念(かまどきん)」の精神に基づき、「地域の子どもは地域で育てる」取組が、開かれた学校づくり、市民・PTAぐるみの教育改革に連続とつながっていることを紹介。この度の教育基本法改正案について、現行法の崇高な理念を生かしつつ、「家庭教育、伝統文化、国を愛する心、生涯学習、障害のある子どもの教育、幼児教育等、本市が市民とともに重要視してきた課題が盛り込まれており、国会で広く議論され、国民の教育に対する目標・理念を共有するものとして改正されることは励みになる」と述べ、また、教員定数や教員の処遇の改善など、教育条件の充実を強く訴えました。質疑では、京都市の学校・家庭・地域が連携した教育実践などが絶賛され、市民・PTAぐるみの教育改革に注目が集まりました。

当日の様子は衆議院のホームページから動画でご覧いただけます。 http://www.shugiintv.go.jp/jp/index.cfm

「堀川の奇跡」から4年

西京高校 新学科1期生が「第二の奇跡」!!

市立高校、今春の進路実績に全国から賞賛の嵐

西京、国公立大に現役で106名、 難関私立大に330名が合格!

西京高校エンタープライジング科は、平成15年4月の開設以来、「進取・敢為・独創」の教育方針の下、学術顧問の堀場雅夫氏や西島安則氏をはじめ、各界最高峰の方々から多岐にわたる御助言をいただき、更に、産業界・学術研究機関とも連携し、大学や大学院への進学を前提とする高度な教育を展開してきました。中でも、豊かな経済セン

スを養うために設置された専門科目では、MESE(企業経営意思決定シミュレーション)を用いた学習を導入し、世界最大の経済教育団体ジュニアアチーブメント主催の全国コンテストにおいて、毎年優勝・準優勝などの上位賞を果たすなど、着実に成果を挙げてきました。

そして今春、京大2名・神戸大11名を含む国公立に106名(昨年0名)、早慶・中央・同立を含む難関私立に330名(昨年48名)の合格者を輩出し(卒業生206名)、全国の教育関係者・マスコミから注目を浴びた堀川高校探究科1期生が成し遂げた「堀川の奇跡」を超える、大躍進を遂げました。

堀川高、京大現役合格率が3年連続で 全国の公立トップ!

先進的な教育活動を展開し、全国から注目を集めている堀川高では、現役で京大27名・東大3名を含む難関の「京都・東京・大阪・神戸」に61名(昨年57名)が合格。京大現役合格率は、3年連続で全国公立高校トップを記録しました。また、国公立大学合計では128名が合格しました。

普通科系全校で京大合格者を輩出!

普通科系5校【堀川・西京・紫野・日吉ヶ丘・塔南】では、今春、全校で京大合格者を輩出しました。4年制大現役合格率(実数)も国公立・私立ともに上昇し、昨年度(62.9%)を大きく上回る74.4%となりました。生徒の進路希望に徹底的に応えるための各校の進路指導が実を結んでいます。

芸術専門系2校、国公立現役合格、倍増の32名!

芸術専門系2校【顕彰美術工芸・音楽】についても、京都市立芸術大学を含む国公立大に昨年から倍増の32名が合格、また、4年制大現役合格率は76.6%(昨年68.5%)と進路実績を伸ばしています。

学校斡旋就職内定2年連続100%、 就職でも進路希望を徹底保障!

依然として厳しい状況が続く中、教員総出の企業訪問など各校の懸命の努力により、2年連続全校で100%の就職内定率を達成。洛陽・伏見両工業の全日制では、4年連続100%の内定率を確保しました。



●教育の原点は家庭。家庭教育を支えるのが地域と学校です。三者がお互いの長所を引き出しあうことが子どもたちの健やかな成長につながります。家庭教育への3つの提案を大いに参考にしてください。
●市立高の全校で取り組んでいる特色ある学校づくりが本年も卒業生の進路に大きな実を結びました。充実した教育活動が一人ひとりの子どもたちの未来を支えています。
●夏休みを迎えます。それぞれのご家庭で実践された家族の宿題を編集担当までお知らせください。

あしたのために

FOR OUR FUTURE

発行：京都市教育委員会 (生涯学習部家庭教育支援担当) 京都市中京区寺町御池 ☎075-222-3590 http://www.edu.city.kyoto.jp/kateitiki

子どもをのばす3つの提案

- 「家族の宿題」体験談 ～我が家の場合～
- 文化部のインターハイ「京都総文」開催 第30回全国高等学校総合文化祭
- PTA親子コンサート ●劇団四季 オリジナルミュージカル「夢から醒めた夢」 ●今夏も熱く!理論と実践「第8回地域教育フォーラム」 ●読書大好き! ●第42回クロスワードパズル
- みんなで楽しくウォーキング 「紫蘇の香りの大原を歩こう」 ●西京の奇跡 — 市立9高校 進路実績に賞賛の嵐 ●門川大作教育長国会答弁

創業400年ののれんを誇る老舗料亭「鬮亭」。京料理の歴史と伝統を継承しながらも、時代のニーズに対応した新しい「味」の創出に挑戦し続けています。昨年度から、日本料理アカデミー(会長・高橋英一さん)が中心となって、京都市立学校でPTAとともに子どもたちの食への関心を高める「食育カリキュラム」にも取り組んでいます。今回は、14代目の当主高橋英一さん、15代目を継ぐ息子の義弘さんにインタビューし、家庭教育や親子の関係などについて伺いました。

「老舗店ならではの家庭でのしつけ、決まりごとがあれば教えてほしい。」
高橋英一(以下・英一) □ロヤカマヘン「ういひなびに」ああしなびにと言ったとはありませんね。ただ、挨拶をきちんとならなければ、玄関先に靴を脱ぎ散らかしたり、基本的な行儀・礼儀がみえなくなってしまうのは厳しく注意してきました。でも、それは「の家庭で同じではないでいいから、私自身、親から多く聞かされたのは謙虚になりなさい」ということ、おぼろげな世界では、いろいろなお客様との出会いを大切に、満足していただくかなければなりません。謙虚な気持ちでいることが、何よりも重要だと感じています。」
高橋義弘(以下・義弘) 父親が帰ってくるのが遅く、家族みんなで晩ごはんを食べることが多かったのですが、自分で卵焼きを焼いて、こぼらしたりしてしまったりして、(笑)。

「食に対する子どもたちの関心を高めるために、さまざまな活動をされていますね。」
義弘 学校でお弁当箱を開いたとき、冷凍食品ばかり入っていたら、子どもたちは「冷凍庫に入っていたお弁当」と感じてしまっています。どんなに簡単なメニューでも、ひと手間かけることで、作り手の気持ちが伝わったり、食べる側がそれを自然に理解する……。 “料理”というものを通して、親子のコミュニケーションが生まれるのです。例えば、そのままだでは食べられない野菜でも、炒めたり炊いたり、塩こしょうすることによって、おいしく調理に変化させる。そのように、親子のコミュニケーションが生まれるように、子どもたちは自ら好きにききと輝かせています。

英一 私たちが市立学校で取り組んでいる「食育カリキュラム」は、五感を働かせて食材を味わったり、食材の特徴に応じてさまざまな調理法を楽しんでもらっています。おいしいものを、おいしいと感じられる素直な心で、そして他人を思いやる心を育てたいですね。

HUMAN CLOSE UP

ヒューマンクローズアップ

「鬮亭」代表取締役 14代当主
Eiichi Takahashi, Yoshihiro Takahashi



高橋義弘さん 高橋英一さん

高橋英一さん・義弘さん

「老舗店ならではの家庭でのしつけ、決まりごとがあれば教えてほしい。」
高橋英一(以下・英一) □ロヤカマヘン「ういひなびに」ああしなびにと言ったとはありませんね。ただ、挨拶をきちんとならなければ、玄関先に靴を脱ぎ散らかしたり、基本的な行儀・礼儀がみえなくなってしまうのは厳しく注意してきました。でも、それは「の家庭で同じではないでいいから、私自身、親から多く聞かされたのは謙虚になりなさい」ということ、おぼろげな世界では、いろいろなお客様との出会いを大切に、満足していただくかなければなりません。謙虚な気持ちでいることが、何よりも重要だと感じています。」
高橋義弘(以下・義弘) 父親が帰ってくるのが遅く、家族みんなで晩ごはんを食べることが多かったのですが、自分で卵焼きを焼いて、こぼらしたりしてしまったりして、(笑)。

「食育カリキュラム」
市立学校で老舗料亭の板前さんを招いて子どもたちが日本食特有ののだしの旨みや食材の大切さ、調理法などについて学習しています。この取組を通じて、食や環境を取り巻く環境の大切さを知るとともに、日本料理に思っている人、思いやる心を育てています。

プロフィール
●高橋英一/昭和14年、京都市生まれ。大学卒業後、東京・大塚で修業を兼ね、昭和42年、鬮亭の第14代を継承。400年の伝統を生かしながら、時代のニーズに合った新しい味を追求している。京都料理組合長、日本料理アカデミー会長などを歴任。全国の料理学校・教室などで教壇に立ち、後進の指導にも尽力。「鬮亭の四季」「鬮亭の点入門」など著書多数。
●高橋義弘/昭和49年、京都市生まれ。大学卒業後、金沢の老舗料亭「つる亭」で3年間修業。平成11年、鬮亭の取締役に就任。創意工夫を凝らした新しい京料理を提案して、高い評価を得ている。現在、日本料理アカデミー常任理事。食を通して子どもたちの豊かな心をはぐくむ「食育」にも力を注ぐ。京料理の次代を担う若手として注目されている。

